

(様式・記載の例)

※斜体 (赤) は、記載例

事業計画の概要

※枠内 (青) は、注意点

1 事業者の情報

(1) 事業者

株式会社〇〇〇〇

代表取締役 〇〇 〇〇

住所：〇〇市△△△△ XX番地 ヤードの住所ではなく、事業者の住所を記載。

電話番号：XXX-XXXX-XXXX (携帯電話：XXX-XXXX-XXXX)

(2) 現場責任者になる予定の者

施設長 〇〇 〇〇

(携帯電話：XXX-XXXX-XXXX)

2 事業場の情報

所在地：〇〇市△△△△ XX番地 ヤードの住所を記載。

敷地面積：(実測) 2, 000㎡

事業場内の建築物等：1棟(事務所)

詳細は、別紙図面のとおり。

3 事業の概要

「特定再生資源屋外保管業」としての一連の流れについて、特に次に掲げる内容が分かるように記載。(※フローチャートなど、図で示すことも可能。)

- ・ どのような特定再生資源を、どこから収集するか(予定か)
- ・ どのような保管をするか(予定か)
- ・ 保管に伴って破碎等をする場合は、どのような破碎等をするか(予定か)
- ・ どのような状態にして、どこに引き渡すか(予定か)

また、既存事業者については、①いつから事業を行っているか、②これまでの事業と事業計画の内容が異なる場合は、その旨及び事業変更の予定日……などを記載。

4 取扱物品(特定再生資源の区分)

- ・ H鋼(金属スクラップ)
- ・ 使用済みペットボトル(プラスチック類)
- ・ 使用済み業務用機器(雑品スクラップ)
- ・ 被覆銅線(雑品スクラップ)
- ・ その他金属類(金属スクラップ)
- ・ その他雑品類(雑品スクラップ)

収集する特定再生資源の種類、品目等を記載。
また、特定再生資源の区分を併せて記載。

(様式・記載の例)

5 保管の方法

(1) 保管の場所ごとの情報

保管の場所	位置	面積 (実測)	特定再生資源の区分	保管の高さ (最高)
A	別紙図面のとおり	200㎡	雑品スクラップ	5m
B	別紙図面のとおり	200㎡	雑品スクラップ	5m
C	別紙図面のとおり	800㎡	金属スクラップ	6.5m
D	別紙図面のとおり	800㎡	金属スクラップ	6.5m
E	別紙図面のとおり	200㎡	プラスチック類	4m

詳細は、別紙のとおり。

保管の場所ごとに、次に掲げる内容を記載。

- ・保管の場所の位置
- ・保管の場所の面積 (実測)
- ・保管をする特定再生資源の区分
- ・保管の場所の周囲の囲いとの関係
 - ↳特に、囲いに係る直接負荷部分の有無
- ・保管物を積み上げる高さ

(2) 保管の作業の方法及び手順

保管の場所ごとに、標準作業書のとおり。

(3) 積み上げる作業の用に供する機械の種類、数量及び能力

機械	機械の種類	使用するアタッチメント等 (フォークリフトの場合、最大揚高)	型式等
①	油圧ショベル	バックホウ	〇〇社製 XX-XX
②	油圧ショベル	グラップル	〇〇社製 XX-XX
③	油圧ショベル	リフティングマグネット	〇〇社製 XX-XX
④	フォークリフト	最大揚高5m	△△社製 YY-YY
⑤	クレーン		〇〇社製 ZZ-ZZ

詳細は、別紙のとおり。

積み上げる作業の用に供する機械ごとに、次に掲げる内容を記載。

- ・機械の種類
- ・油圧ショベルの場合、使用するアタッチメント等
- ・フォークリフトの場合、いわゆる「最大揚高」
- ・機械の型式等
- ・機械の能力 (概要)
 - ↳動力源、出力、積載荷重、騒音低減性能など

既に導入している場合は、機械の写真を添付。

また、機械の能力については、仕様書や銘板の写真を添付することでも説明の補足が可能。

(様式・記載の例)

6 破碎等の方法

(1) 破碎等の場所ごとの情報

破碎等の場所	位置	面積 (実測)	破碎等の種類	破碎等の方法 (概要)
a	別紙図面のとおり	100m ²	破碎	破碎機による破碎
b	別紙図面のとおり	200m ²	切断	ガス溶断による切断
c	別紙図面のとおり	200m ²	圧縮	圧縮機による圧縮
d	別紙図面のとおり	100m ²	解体	手作業による解体
e	別紙図面のとおり	100m ²	洗浄	水洗施設による洗浄
f	別紙図面のとおり	100m ²	洗浄	選別機による選別

詳細は、別紙のとおり。

破碎等の場所ごとに、次に掲げる内容を記載。

- ・破碎等の場所の位置
- ・破碎等の場所の面積 (実測)
- ・破碎等の種類
 - ↳①破碎、②切断、③圧縮、④解体、⑤洗浄のいずれか
- ・破碎等の方法
 - ↳どのような保管物に対し、どのような破碎等をするのか

洗浄については、それ自体を作業目的としていなくても、結果的にその効果があるものとして、水を使用する作業全般について記載すること。(例えば、水を利用した比重選別や、湿式振動ふるい機の使用など。)

(2) 破碎等の作業の方法及び手順

破碎等の場所ごとに、標準作業書のとおり。

(3) 破碎等の用に供する設備の種類、数量、設置場所及び能力

設備	設備の種類	破碎等の種類	破碎等の場所	型式等
①	破碎機	破碎	a	〇〇社製 AA-AA
②	ガス溶断器	切断	b	
③	圧縮機	圧縮	c	△△社製 CC-CC
④	水洗設備	洗浄	e	
⑤	湿式振動ふるい機	洗浄	f	□□社製 EE-EE

詳細は、別紙のとおり。

破碎等の用に供する設備 (機械等を含む。) ごとに、次に掲げる内容を記載。

- ・設備 (機械) の種類
- ・設備 (機械) を使用して作業する破碎等の種類
- ・設備 (機械) を使用する破碎等の場所
- ・設備 (機械) の型式等
- ・設備の能力 (概要)
 - ↳動力源、出力、処理能力、騒音低減性能など

既に導入している場合は、設備 (機械) の写真を添付。
また、設備 (機械) の能力については、仕様書や銘板の写真を添付することでも説明の補足が可能。